

二〇二三年度

受験番号

氏名

武蔵野短期大学 幼児教育学科

特待生選抜入学試験

二〇二三年一月二十八日実施

国語総合（一〇〇点 六〇分）

注意事項

- 一 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 監督者の「解答はじめ」の指示があった後、速やかに問題冊子と解答用紙の両方の所定欄に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 三 この問題冊子は、9ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 四 解答は、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。
- 五 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六 不正行為について
  - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意をしますので、注意や指示に従ってください。従わない場合には、不正行為とみなされる場合があります。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 七 試験終了後、問題冊子は回収します。

第一問 次の傍線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- (1) 長年の願いが成就した。
- (2) 自己の人格を陶冶する。
- (3) 貸し借りを相殺する。
- (4) 誰とでも分け隔てなく接する。
- (5) 苦渋の選択を迫られる。
- (6) 浴衣を着て出かける。
- (7) 物事の要点を的確に捉える。
- (8) 悪口雑言を浴びせる。
- (9) その効果を判断するのは時期尚早だ。
- (10) 他者の作品とデザインが酷似している。

第二問 次の傍線部と同じ漢字を使うものを選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 理想をツイキユウする。

ア 普キユウ      イ 困キユウ      ウ 要キユウ      エ 研キユウ

(2) 彼はオンコウな人柄で知られる。

ア 平オン      イ オン楽      ウ 気オン      エ オン人

(3) 意味シンチョウな発言をする。

ア シン夜      イ 謹シン      ウ シン縮      エ 精シン

(4) キョウコウな姿勢を崩さない。

ア コウ造      イ コウ輩      ウ コウ直      エ コウ撃

(5) 契約の条件をコウショウする。

ア ショウ諾      イ 干ショウ      ウ ショウ待      エ ショウ売

### 第三問

次に示す慣用句やことわざに関し、(1)から(2)については意味する内容として最適な選択肢を記号で答えなさい。また、(3)から(5)については、示されている意味となる慣用句やことわざとなるように括弧の中に挿入すべき適切な語句を漢字で答えなさい。

(1) 目から鼻に抜ける

ア 人や物の良し悪しを見分ける能力が優れている。

イ 見たものを理解できず、身に付かない。

ウ 自分の欠点や短所は自分ではよくわからない。

エ 頭の回転が早くて抜け目がない。

(2) 渡りに船

ア 何かをしようとしているときに、ちょうど都合のよいことが起こる。

イ 自分の都合のよいように行動する。

ウ 災難や失敗をうまく処理して、逆に成功のきっかけとしてしまう。

エ 話し合いなどをするために前もって連絡をとる。

(3) 程度が甚だしくて、文章や言葉では表現しきれない。

( ) に尽し難い

(4) 相手が冷淡でそっけなく、頼ろうとしてもきっかけがつかめない。

取りつく( ) もない

(5) 故郷を離れていた者が成功して、晴れがましい思いで故郷に帰る。

故郷に( ) を飾る

第四問

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(1) 空欄AからDに入る最適な選択肢を選び、記号で答えなさい。

ア 尋      イ 不      ウ 非      エ 異

(2) 四字熟語を完成させるように、空欄Eに入る漢字を答えなさい。

(3) 傍線部「」から傍線部「」の漢字について、適切な読み方をひらがなで答えなさい。

(4) 傍線部①「当時の普通の子供、または期待されていた子供」を生み出す学校教育の型が作られたのはどのような時代でしょうか。文中から十七字で抜き出しなさい。

(5) 傍線部②「真にせまってみえた」とありますが、伯母さんがそのような話し方を身につけた方法を答えなさい。

(6) 傍線部③について、なぜ現在、伯母さんの考え方が「近代的な価値観、近代的な生活のシステムに反省をうながすもの」として有効な面を持つのでしょうか。「くから。」という形になるように、文中から五〇字以上六〇字以内で抜き出しなさい。なお、「から。」は抜き出しの字数には含みません。

(7) 傍線部④の「小犬」や「うし紅の牛」は、『銀の匙』の主人公である「私」にとってどのような存在でしたか。文中から十五字以上二〇字以内で抜き出しなさい。

(8) 傍線部⑤について、夏目漱石は「自分の幼年時代」をどのように捉えていたと考えられますか。最適な選択肢を選び、答えなさい。

ア 無差別で非合理的な価値観にとらわれていた幼年時代

イ 学校教育、あるいは大人に対する不信感を抱いていた幼年時代

ウ 自分がコントロールできるものとの関係のみで生きていた幼年時代

エ 人間を中心としたヒューマニズムを信奉する幼年時代

(9) 傍線部⑥について、『銀の匙』と『つむじまがり』に対し、夏目漱石と中勘助がそれぞれどのように評価していたかというものを整理したうえで、成長に伴う子どもと社会のかかわり方の変化に関し、一二〇字以上一五〇字以内で自分の考えをまとめなさい。

受験番号

--

氏名

--

第一問（各2点）

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
じきしょうそう	とら	くじゅう	そうさい	じょうじゆ
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
こくじ	あっこうぞうごん	ゆかた	へだ	とうや

※6

※5

第二問（各2点）

(5)	(3)	(1)
イ	ア	ウ
(4)	(2)	
ウ	ウ	

第三問（各2点）

(5)	(3)	(1)
錦	筆舌	エ
	(4)	(2)
	島	ア

※2

※1

